

摘された。本フィルムの試験は始めてであり、継続検討が望まれた。

ヤマトイモ作（鯨井系，5月15日植付け，同16日被覆）に対する試験結果では，完全に崩壊したが，試験初年目でもあり，継続検討が望まれた。

(4) 光崩壊性フィルムの土壌混入が後作物の出芽・生育および土壌環境に対する影響

農事試では，SPDフィルムのM1，M3，M4およびサンブラックフィルムMをスイートコーン作に適用，その収穫後11日間放置し，8月11日と23日の2回，ロータリ（耕深12cm）で耕うんと同時に，残留フィルムをすき込み，ダイコン（夏まきみの早生）とニンジン（黒田5寸）を播種し，出芽・生育に与える影響について検討した。

両野菜とも，無処理に比べて，出芽に影響がなく，また，収穫物の葉長・葉重・根長・根重・岐根率などにも影響がみられなかった。昨年の

試験と合せ，光崩壊性フィルムのすき込みが後作野菜の出芽・生育とくに根の伸長に全く影響がないとはいきれないが，実用的には問題のないことが判断できた。

また，農事試では，SPDフィルム（M1）とサンブラックフィルム（M）について，使用1年分，3年分，5年分に当たる崩壊粉末，1/2,000aポットの土壌（表面から5cm層）に混入し，落花生の生育と根粒に与える影響を検討した。播種34日後における調査結果では，落花生の主茎長・分枝数・地上部・地下部重に与える影響は認められなかったが，根粒の着生数は無処理に対し若干の減少を示した。昨年も同様な結果であり，フィルム混入が根粒をはじめその他の土壌微生物活動に対して何らかの影響のあることがわかった。これらの影響が実用的に問題になるのかどうか，また秋作などについては，今後検討しなければならぬが，いずれにしても光崩壊性フィルムの利用にあたって，留意しておくべき問題である。

昭和53年度茶園関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和53年度茶園関係除草剤および生育調節剤委託試験成績検討会は，12月20日，三重県茶業センター（亀山市）において試験関係者および委託関係者等30余名参集し，開催した。

除草剤5剤合計16点，生育調節剤2剤合計7

点について，試験担当者の報告およびそれに対する質疑応答ならびに検討が行なわれた。その他，取りまとめ等についても話し合いが行なわれた。

その判定結果は次のとおりである。

本誌掲載原稿の募集

本誌を愛読されている皆様より，原稿を募集しておりますので，ご寄稿下さい。内容は，除草剤，生育調節剤に関する記事であればよく400字詰原稿用紙で20～30枚位，図・写真の挿入可。原稿料は，当協会の規程によりお支払いいたします。

昭和53年度 茶園関係除草剤・生育調節剤委託試験供試薬剤一覧および判定結果
除 草 剤

薬 剤 名 { ○ 種類名 ● 商品名}	委 託 者 名	薬型・有効成分 および 含 有 率	新継の別 前回判定	試験実施場所 (数)	試験のねらい：処理方法、 処理時期、散布薬量等	今回 判定	判定理由・内容・ そ の 他
AH-501 ○ _____ ● _____	旭化成工業	液剤 未公開	新	茶業試験場、 茶業試験場枕 崎支場。 (2)	雑草全般に対する除草効果 および薬害の有無；春 および夏期、雑草生育初 ～中期、15, 30 ml/a (製品量)を15lの水に 希釈散布。	継	試験年次・例数 不足。 成分未公開。
AH-502 ○ _____ ● _____	旭化成工業	液剤 未公開	新	茶業試験場、 茶業試験場枕 崎支場。 (2)	雑草全般に対する除草効果 および薬害の有無；春 および夏期、雑草生育初 ～中期、25, 50 ml/a (製品量)を15lの水に 希釈散布。	継	試験年次・例数 不足。 成分未公開。
HW-920 ○ DCMU ● _____	保土谷化学 工業	微粒剤 3-(3,4-ジ クロルフェニル) -1,1-ジメチ ル尿素 ……… 3.0%	新	埼玉茶試、静 岡茶試、三重 農セ(茶セ)、 長野南信地方 試、福岡農試 (茶指)。(5)	1年生雑草に対する除草 効果および薬害の有無； 春および夏期、雑草生育 初～中期、500, 750, 1000g/aを雑草茎葉に 散布。	継	試験年次不足。 (散布時期およ び製品への影響 の検討)。
B-3015・P ○ _____ ● サターン バアロ粒 剤	クミアイ化 学工業	粒剤 ベンチオカーブ ……… 8% プロメトリン ……… 0.8%	継 継	茶試(枕崎支 場)、埼玉茶 試、静岡茶試、 三重農セ(茶 セ)、福岡農 試(茶指)。(5)	1年生雑草に対する除草 効果および薬害の有無 (特に薬臭について)；春 雑草発生前・夏中耕後、 400, 600, 800 g/aを 畦間土壌処理。	継	薬臭試験を要す る。 〔3カ所以上〕
SSH-43 ○ イソウロン ● _____	塩野義製薬	粒剤 イソウロン(尿 素系) ……… 1%	新	茶業試験場、 茶業試験場枕 崎支場。 (2)	1年生雑草に対する除草 効果および薬害の有無； 春・雑草発生前・夏中耕 後、500, 750g/aを畦 間土壌処理。	継	試験年次・例数 不足。 (薬量を下げて 検討、薬害、薬 臭について)。

生 育 調 節 剤

薬 剤 名 { ○ 種類名 ● 商品名}	委 託 者 名	剤型、有効成分 および 含 有 率	新継の別 前回判定	試験実施場所 (数)	試験のねらい：処理方法、 処理時期、散布薬量等	今回 判定	判定理由、内容 そ の 他
1. GT液剤 ○ _____ ● グリナー	日本グリン ナー	乳化剤 マイクロクリ ス タリンワックス ……… 11.03% ホレイン酸 ……… 2.02%	新	茶業試験場、 埼玉茶試、長 野南信地方試、 岐阜中山間農 試。 (3)	茶樹の寒干害防止：12～ 2月にわたり10, 15 倍 液を3回、毎回300～ 400l/10a散布。	継	試験年次不足。

薬 剤 名 ○ 種類名 ● 商品名	委 託 者 名	剤型・有効成分 および 含 有 率	新継の別 前回判定	試験実施場所 (数)	試験のねらい：処理方法 ・ 処理時期・散布薬量等	今回 判定	判定理由・内容・ そ の 他
1. GT液剤 (つづき)		モルホリン …… 1.12 %					
2. キクノ－ ○ _____ ● キクノ－	三 和 産 業	乳剤 パラフィン ……… 24 %	新	茶業試験場， 埼玉茶試，長 野南信地方試， (3)	茶樹の寒干害防止；1～2 月にわたり，10，20 倍 液を2回，毎回 200 ～ 300L／10a 散布，	継	試験年次不足．

昭和53年度水稲作関係 除 草 剤 試 験 成 績 概 要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和53年度水稲作関係委託除草剤試験成績中央検討会は，昭和53年12月12日より4日間，日本都市センター（東京）において開催した。その結果をここに報告する。

1. 検討課題別概要

1). 背負式動力散布機利用による水田除草剤散布試験は，5薬剤を用いて5場所で実施し，12月12日に試験結果の報告並びに検討を行った。その結果は，前年度に比べ，除草効果も大きく，実用性は高まっている。さらに確実な技術とするために，散布機の構造，製剤両面での検討が必要である。

2). 強還元田における除草剤の安全使用に関する問題については，昭和53年度は3年継続試験計画の1年目として，水田初期処理剤を中心とした10薬剤につき，全国6場所で試験を開始し，12月13日に初年目の結果報告及び検討を行った。2～3の薬剤に多少の影響があったようにみられたが，イネワラすき込みは初年目であり，還

元状態も水稲の生育を阻害する程度も軽度であり，はっきりした結果は得られなかった。さらに土壌との関係，耕種法との関係なども明確にし，この問題を明らかにすべきである。

3). 転換畑用除草剤の検討については，10薬剤につき8場所でのべ66点の試験を実施した。その結果，5薬剤はど有効なものが認められた。ただ，本年は旱天が続いたため，除草効果も高く，また畑地に近い雑草の発生もあり，イネ科雑草の多発生条件で，さらに検討する必要があると思われる。転作の年数経過と共に，一般的には畑状態に近づくと思われるので，転作1年目，2年目との区別を考えた試験が今後必要と思われる。なお，その結果は，本号11頁に「昭和53年度転作（大豆）関係除草剤試験成績の概要」として掲載されているので参照されたい。

4). 第1次適用性試験成績の検討。昭和53年度第1次適用性試験は，20薬剤につきのべ89点の試験が実施された。試験場所は従来の7地域で，このうち北陸地域は新たに新潟農業試験場